

## 令和8年度看護学科入学者選抜試験 国語を中心とした総合問題 試験問題 (4-1)

問題 次の〈資料Ⅰ〉、〈資料Ⅱ〉、〈資料Ⅲ〉をよく読んで後の問いに答えなさい。なお、設問の都合上、一部を省略したり表記を変更したりしています。〈資料Ⅰ〉は秋田県の地方紙の「秋田魁新報」、〈資料Ⅱ〉および〈資料Ⅲ〉は全国紙の「朝日新聞」です。

問1 〈資料Ⅰ〉にある「ウオークイン」とは何を指すか。最も適切な説明を選びなさい。

- ① 自力で病院に来院した患者
- ② 救急車で搬送された患者
- ③ 紹介状を持参した患者
- ④ 入院を希望した患者

問2 〈資料Ⅰ〉の「年末年始(24～25年)の救急告示病院利用患者数」の表をもとに、年末年始の秋田県全体の入院率を求めなさい。計算式を示し、求めた結果を、小数点第1位を四捨五入した概数(%)で書きなさい。

問3 問2の結果をふまえ、救急外来の利用実態として最も適切な説明を選びなさい。

- ① 入院が必要な重症患者が多い
- ② 軽症者が多数を占め、救急外来が圧迫されている
- ③ 救急車の利用は減少傾向にある
- ④ どの地域も均等に利用されている

問4 秋田県が「適切な受診行動の啓発」を行う目的として最も適切なものを選びなさい。

- ① 救急外来を軽症者に開放するため
- ② 重症患者が迅速に治療を受けられる体制を守るため
- ③ 医療費を削減するため
- ④ 救急車の台数を減らすため

問5 〈資料Ⅱ〉から軽症でも救急外来を受診する行動の背景としてどのようなことが考えられるか。最も適切なものを選びなさい。

- ① 夜間・休日に診療できる場所が少なく、不安を感じるため
- ② 医療費が安くなるため
- ③ 迅速な検査を受けたいから
- ④ 医師に入院を勧められたから

令和8年度看護学科入学者選抜試験 国語を中心とした総合問題 試験問題 (4-2)

問6 〈資料Ⅲ〉をもとにして考えると、次の二人のどちらを優先して診察に案内すべきか。

Aさん：救急車で搬送。意識清明。出血少量。

Bさん：自力来院。顔面蒼白、冷汗あり、「胸が締めつけられる」と訴える。

- ① Aさん
- ② Bさん
- ③ 受付順
- ④ どちらも同時

問7 軽症患者が救急外来に集中すると、どのような影響が生じるか。〈資料Ⅰ〉・〈資料Ⅱ〉を参考にして 40 字以内で書きなさい。

問8 3つの資料の内容に基づき、次の文の(A)(B)に適切な語句を書きなさい。

年末年始の救急外来では、入院を必要としない(A)が多数を占め、その結果、(B)という課題が指摘されている。

問9 〈資料Ⅰ〉、〈資料Ⅱ〉、〈資料Ⅲ〉の内容をもとに、救急外来の課題を改善するために県や看護師ができることを 35 字以内で書きなさい。

問10 3つの資料を読んで、救急外来における看護師の役割と看護師に必要な資質や能力について考え、その資質や能力を育成するために看護学校でどのように学んでいこうと考えているか、下の条件で書きなさい。

- ・450 字以上 500 字以内で書くこと。
- ・段落構成を考えること。
- ・あなたがもっとも述べたい文に下線をつけること。
- ・あなたの考えが分かる題名をつけること。